

## Familiar-eとは?

「環境ビギナー」な著名人がメッセージを発信することで、一般の方々のエコアクションにつながる「キッカケ」作りを行っています。今年オリジナルごみ袋を作成し、ビーチクリーン等に提供します。詳しくは<http://www.env-r.com/fe>

# Familiar-eのECO COMMITMENT<sup>1</sup>

エコ コミットメント

約束してくれた人=佐伯日菜子さん

エコのことを考えるようになったのは、子供が生まれてからです。それまではすごい自分勝手だったんです。「自分がよければ他人なんていいや」って感じで(笑)。でも、子供のおかげでいろいろ気づくようになりました。例えば、子供っていろんなものに興味もつじやないですか、道に落ちてるゴミとか。そういうのを見ると、ポイ捨ては止めなきゃって。そうやって自分ができることを少しずつやっています。主婦は生ゴミが気になるので、シンクの排水溝にネットを付けてます。「流し台は海への入り口です」ってCMも昔あったし、なるべく生ゴミを流さないよう気をつけてます。最近少しずつエコなことをするようになって、自己満足じゃないけど「なんか私いいことしてるんじゃない」って思うようになった。そうすると、外に出たときに「街が綺麗だな」とか思えるようになったりして、すごく心が豊かです。これからは、自分ができることから頑張っていきたいですね。

## 佐伯さんのエコミット

流し台は海への入り口  
まずはキッチン周りから  
がんばります

ネットを排水溝につけて生ゴミをキャッチ



環境にやさしい洗剤を使って頑張ってます

雑誌の取材で娘と一緒にグアムへ行きました



田中章義さんの本。エコのきっかけのひとつ



## 佐伯日菜子

さえき・ひなこ/1994年、映画『毎日が夏休み』でデビュー。2002年、横浜F・マリノスの奥大介選手と結婚、2児をもうける。現在は、女優業に加えて、母親の視点で見た対談や執筆活動等にも力を入れており、幅広い層から支持を受けている。



グアムのホテルでも環境にやさしいサービスが

飲み物を持ち運ぶのに使ってるかわいい水筒



取材・構成=高橋宏文